

神奈川県立川崎図書館の「旬」な情報をお届けします



Science & industry  
information Library

知る No.26

科学と産業の  
情報ライブラリーニュース



「東京スカイツリーとタワー建築」を展示します。

今年5月に開業を予定している東京スカイツリー。  
高さ 634 メートルの世界一高い自立式電波塔として、多くの注目を集めています。

今回、県立川崎図書館では、東京スカイツリーの構造やデザイン、日本各地のタワー建築などを、所蔵資料やパネルなど紹介します。

ミニ展示「東京スカイツリーとタワー建築」

期間：1月13日（金）から3月31日（土）

の開館日

会場：県立川崎図書館 2階展示コーナー

展示内容：東京スカイツリーのデザインと構造、  
タワー建築の歴史、  
日本各地のタワー、など

※関連講演も予定しています。

決まり次第、ホームページ・ポスターなどでご案内します。

●担当者からひとこと

東京スカイツリーは、新しい構法など、最新の技術で建造されました。また、デザインが今の姿に決まったプロセスなども興味深かったです。そして東京スカイツリーだけでなく、日本各地にはさまざまなタワーがあるので、比較してみると、タワー建築をもっと楽しむことができます。ぜひ、ご覧ください。



## トーク「映像をビジネスにした社長の話」

「映像のまち かわさき」で映画やドラマ、CMのロケ地紹介を仕事にしている、有限会社 VOICE の寺川社長にお話をうかがいます。これまで関わった映像は、ホラー映画「リング」や、実写版「あしたのジョー」などをはじめ300本に及びとか。

日時：1月28日（土）  
14：00から16：00

場所：県立川崎図書館  
2階ホール

【講師】

**櫻井 亨氏（川崎市産業振興財団）**

※市内を東奔西走、現場主義で地域を活性。

**寺川香苗氏（有限会社 VOICE 社長）**

※ロケ誘致で街づくりの可能性を広げる。

参加は無料。申込が必要。定員50名。

応募者多数の場合は1月20日（金）で締め切り抽選となります。

### ひとくちメモ【映像のまち かわさき】

映像は、人々のコミュニケーションツールとして社会生活の中に深く浸透しています。

川崎市には、平成23年4月に開学した日本映画学校をはじめ、多くの映像スタジオや4つのシネコンが立地し、映像に親しむ機会が充実した都市です。

さらに、映画監督や脚本家、プロデューサー等、川崎にゆかりのある映像クリエイターの活躍も盛んで、市内各所で映画やテレビ、CMなどのロケが行われています。

（「映像のまち かわさき」推進フォーラムのホームページより引用／一部改変）

## 連続上映会「映像で見る科学者たち」

科学の世界で偉人と呼ばれている人たちの生涯を映像で紹介します。比較的有名な人と「こんな人がいたんだ！」と驚くような人物を二人ずつご紹介します。普段はなかなか見る機会がない科学者たちの姿を、ぜひご覧ください

①3月4日（日） 午前10：30から／午後1：30から

「エドモンド・ハレー」ハレー彗星発見で知られる天文学者。

「ハッブル」宇宙が膨張していることを証明し、宇宙望遠鏡にも名前を残している。

②3月11日（日） 午前10：30から／午後1：30から

「ダーウィン」進化論で世界を変えた博物学者。

「高峰讓吉」日本とアメリカで薬学の発展に大いに貢献。

③3月18日（日） 午前10：30から／午後1：30から

「ジュール・ヴェルヌ」科学の未来を予見し『海底二万里』『月世界旅行』を書いた小説家。

「シュレーディンガー」オーストリアの物理学者で、「波動力学」を構築した。

毎回2回上映。上映時間は60～90分程度。会場は県立川崎図書館2階ホール。定員50名で事前の申し込みは不要です。上映時間までにご来場ください。

## 本と雑誌で発見！

県立川崎図書館が受け入れた新着資料から、気になる本や雑誌記事を紹介していきます。

### 【図書】『60プロジェクトによる日本の都市づくり』

日本都市計画学会編（朝倉書店 2011年）〈518.8/733〉

日本都市計画学会は1951年に発足しました。その頃から高度成長期の人口増などに対応するため、今日までに各地でさまざまな都市計画プロジェクトがすすめられました。本書では1956年からの60事例を年代別に取り上げ、「その後」を含めて解説・分析しています。

神奈川県内のプロジェクトも、「港北ニュータウン」「東急多摩田園都市」「厚木ニューシティ森の里」など多数収録。県立川崎図書館のある「川崎駅東口」の項目には、1981年にはじまった富士見通りの整備から、今日に至る展開・再整備の様子などが紹介されています。



### 【図書】『被災地を歩きながら考えたこと』

五十嵐太郎著（みすず書房 2011年）〈518.87/289〉

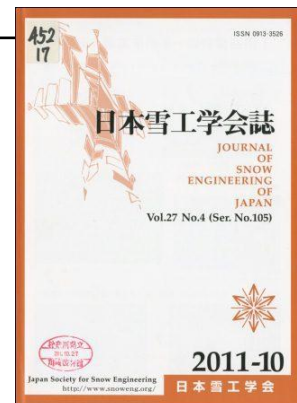
東北大学教授で建築を専門とする著者が、東日本大震災の「被災地を歩きながら考えたこと」を書き記しました。

裏表紙から一部引用すると、「はたして工学で街は救えたのか？」「復興はいかにあるべきなのか？」「津波の記憶はどう語り継ぐべきなのか？」など、有名建築家かや地元建築家の動向を含め、震災発生から「半年間の推移と展望を綴った渾身のルポルタージュ」です。掲載されている被災地の写真とあわせて、等身大の著者の言葉に引き込まれてしまう一冊でした。

### 【雑誌】『日本雪工学会誌』（27巻4号）

2011年10月号〈Z452/17〉

特集1は「今こそ、雪ステージの有効活用」。太陽光発電、風力発電など自然エネルギーがクローズアップされていますが、日本には雪という資源があることもお忘れなく。本号には、熱を発生するデータセンターを寒冷地に設け、雪を貯蔵した雪山で冷却するメリット、雪室で熟成させた食品、雪冷房などが、実例を交えて紹介されています。



### 【雑誌】『チョウの舞う自然 日本チョウ類保全協会』（13号）

2011年10月〈486/11〉

ページ数は薄いものの豊富な写真でビジュアルに伝える日本チョウ類保全協会の会誌です。本号には、県立川崎図書館で講演をしていただいたこともある「海野和男が語るチョウの魅力」や、東日本大震災の津波が昆虫をはじめとした自然界に与えた影響を指摘した「津波の痕跡」などが載せてられています。津波では、とくに冠水による塩分汚染の問題が大きく、トンボをはじめ多くの昆虫に被害が出たそうです。

## 科学実験教室「風力発電機を作ろう！」

クリーンエネルギーとして注目されている風力発電機。今回の実験教室「風の力で電気をおこす風力発電機を作ろう！」では、この風力発電の仕組みがわかる工作・実験をします。講師は、いつも大好評！蔵前理科教室ふしぎ不思議（くらりか）の皆さんです。

日時：2月 4日（土）

第1回目 10：30-12：00

第2回目 14：00-15：30

対象：小学生（1～3年生は保護者同伴）

- 申し込みの締め切りは1月26日（木）です。
- 牛乳パック等の実験材料やはさみ等が必要になります。
- 申し込み方法や詳細については、ホームページをご覧ください。



## その他の情報・イベント

### ●サイエンスカフェ Vol.29

今回は理化学研究所横浜研究所と共催にて開催します。

#### 「細胞が運命を決めるとき」

3月3日（土）14：00-16：00

※前半は講義・後半は質疑・討論を行います。

講師：谷内一郎氏（理化学研究所）

※リンパ球の分化プログラムを転写制御の側面から研究しています。

申し込み期間は1月26日（木）から2月 21日（火）です。応募者多数の際は抽選です。

### ●資料の調べ方講座

第7回「官報情報検索サービスを使うコツ」

2月26日（日）14：30-16：00

第8回「社史を楽しむ」

3月9日（金）10：30-12：00

各回、定員 15 名（先着順）。

### ●図書館探検ツアー

2月18日（土）14：00-15：30

定員 10 名（先着順）

県立川崎図書館のバックヤードを探検してみませんか。本が並ぶまでの説明や、普段は入れない書庫の中をガイドいたします。

- 詳細やお申し込み方法、内容に関してなどは、下記にお問い合わせください。
- これ以外のイベントについては、ホームページなどに逐次、掲載いたします。

神奈川県立川崎図書館 〒210-0011 川崎市川崎区富士見 2-1-4

TEL:044-233-4537 FAX:044-210-1146

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>